

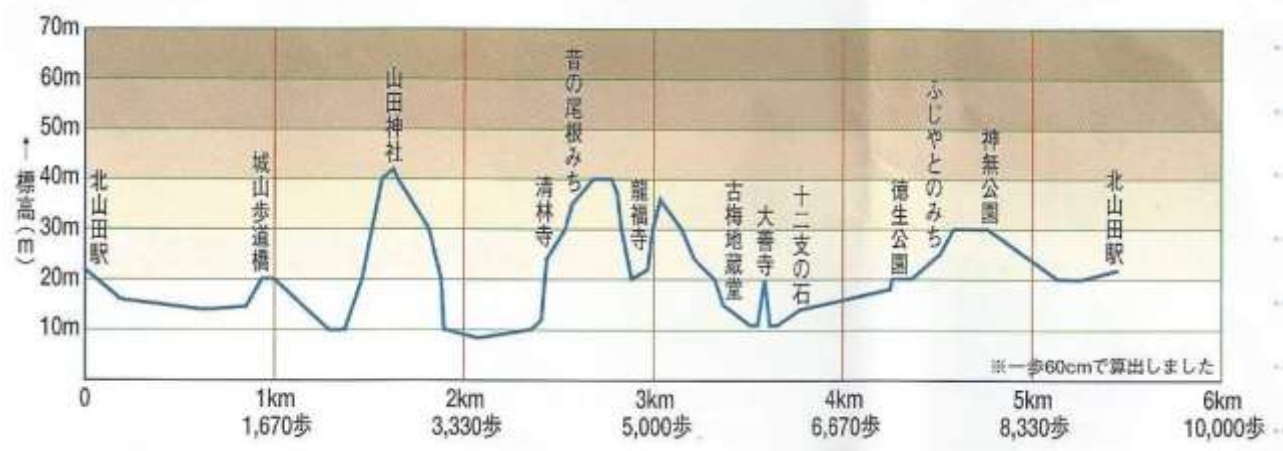
E 北山田駅南部の散策コース

歩行距離 約 5.5 ㌾ 9,200 歩 2j 時間 (但し、ポイント毎に 10 分の休憩見込む)

北山田駅→ふじやと道→十二支の石→山田神社→清林寺→昔の尾根道→龍福寺→古梅地蔵堂→大善寺→徳生公園→神無公園(ｼﾝﾅ)→北山田駅

由緒ある社寺巡りと十二支の石

北山田駅をスタートしてふじやとの道を十二支の石を見つけながら城山歩道橋を渡り左折してしばらく行くと丘の上にある山田神社へ着きますが、この丘は 300 段近くの石段を右に左に曲がりながら登ります。足の悪い方は、ここはパスして下の道を直進して中原街道を進んでください。



ふじやとの道

徳生公園・神無公園・山田富士公園を通り、山田神社方面に続く緑道です。丘陵をうねるように走る緑道には十二支の文字を彫った石のモニュメントがおかれています。



ふじやとの道は小さな流れに沿って東山田へ



酉の石の左手に長泉寺があります

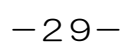
十二支の石

2.5km のふじやとの道に概ね等間隔に時計回りに配置され、子供達の集合の目印にもなっています。石は三春の自然玉石(青鍋石)で造られています。

長泉寺

寺の本尊は不動明王、入り口の左右に風雨に晒されてきた石の仁王像が建ち、右手の大銀杏の根元には穏やかな表情の六地蔵が並んでいます。真言宗豊山、正月 14 日のどんと焼きは賑やかです。

川崎市
宮前区



山田神社

本殿は一間社流造り（市有形文化財）のケヤキの彫刻が素晴らしい。梵鐘（4代目）は、神仏混淆時代の名残です。250mの長い参道には桜並木、狛犬、幟竿（ノボリササ）などがあります。



山田神社 静寂な境内は無口になります



長い参道の向こうにも鳥居があります

清林寺

本堂の前にある山椿は古木で見事な花を咲かせます。他にも樹齢約250年の名木として指定された白樺や銀杏があります。2007年に本尊である聖観世音菩薩が市の有形文化財に指定されました

昔の尾根道

中川中学校から中川小学校に至る一部道幅の狭い道は、両側が崖になっている昔からの尾根道です。現在、その雰囲気は崩れてしまっていますが、うっそうと茂る樹林や竹林の間からの展望は自然の豊かさを感じさせてくれます。



道の両側には野草が咲いていました

尾根道からの展望は晴れていれば素晴らしいでしょうね

龍福寺

早淵川の勝田橋から見上げた高所に位置し、女坂の桜並木の開花時期には訪れる人も多く、境内からの見晴らしも良い。またケヤキの古木指定樹があり、里山の古寺のたたずまいを残しています。

古梅地藏堂

徳川時代の末期の新編武蔵風土記稿にも記載されている由緒ある地藏堂です。中には延命地藏菩薩と子育て地藏菩薩の2体が安置されています。



龍福寺の静かなたたずまい



古梅地蔵は地味なお堂でした

大善寺

開創年は天和元年(1681年)以前で、名木樹齢375年の欅が残っています。浄土宗の寺は新しい試みとして平成8年、境内で甘茶を栽培し、仏教の開祖、お釈迦様の灌仏会(カブツヰ)花祭りを復活させ、甘茶寺を目指しているそうです。



大善寺本堂は一ゼンカツラに囲まれていました



山を背にした鐘楼は美しい姿を見せています



徳生公園を一周してみましょう



神無公園を経て北山田の駅に向うしゃれた歩道

*このコースは距離以上に長く感じられますが、前半に少々きついアップダウンがあるせいです。大榎町中原街道沿いの中川中の先にある清林寺は現在改装中(2012年)で中に入れませんでした。寺の脇を上り詰めて左に折れると昔の尾根道に入りますが、あまり期待は出来ないかも？坂道を下ると竜福寺に出ますが、その先を気をつけないと中川小まで行ってしまいます。地蔵堂も見つけにくいのですが、探す楽しみもあります。そこより200mも行くとみかん公園に出ます。右手に大善寺が見えてきます。戻って西に向かうと子の石があります。そこから400mほどで徳生公園に到着です。左に行けば草笛の道から中川駅へ、右に行けば北山田駅へ到着です。